

清潔で安全な 東京のまちづくりに貢献

公益社団法人 東京ビルメンテナンス協会 会長 佐々木 浩二

あけましておめでとうございます。年頭に当たりまして、一言ご挨拶申し上げます。

東京のまちに賑わいが戻つてきました。昨年は、世界陸上やデフリンピックが開催されるなど、外国人観光客を含めた多くの方々が東京を訪れました。また、ノーベル賞を受賞した坂口志文さん、北川

進さんや、ワールドシリーズ連覇に貢献した大谷翔平・山本由伸・佐々木朗希の各選手、全英女子オープンで優勝した山下美夢有選手など、様々な分野での日本人の活躍が、私たちに勇気と希望を与えてくれました。

一方で、地球規模の自然環境の変化は、わが国にも猛暑による熱中症やゲリラ豪雨といった被害をもたらしたほか、熊などの野生動物が人間に危害を加えるという深刻な事態に至つております。また、企業活動の停止までの事態となつたサイバーテロや、匿名・流動型犯罪グループによる特殊詐欺など、海外を拠点とした犯罪も昨年は多く発生しました。

明暗双方に共通する潮流は、国境を越えた問題解決の必要性と、科学や技術を人間が統治することの重要性ではないで

しょうか。私たちビルメンテナンス業界においても、人材の国際化や技術の高度化が徐々に進んでおります。人件費の高騰や資機材価格の上昇などの厳しい経営状況の中、一致団結して知恵を出し合い、一つ一つ地道に問題を解決していくかなくてはなりません。当協会も、役職員一丸となって、会員企業と業界のために全力を尽くしてまいります。

近年日本国内では、少子高齢化が加速的に進み、生産年齢人口が減少しております。労働力を補うためには、今後、あらゆる分野でロボットや人工知能などの導入は加速していくことでしょう。しかし、人間の知恵や力なくして、清潔で快適な環境を守り、社会の安全を維持していくことは不可能です。私たちビルメンテナンス業界は、今後も研鑽を重ね、心のこもつた質の高いサービスを提供し続けることで、清潔で安全な東京のまちづくりに貢献してまいります。

令和8年が皆様にとってより良い一年となること、そして世界が真に平和になることを心から祈念いたしまして、年頭の挨拶とさせていただきます。

